

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見を寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 **日本共産党品川区議会議員 南 恵子** 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

運動が実いました

緊急通報システム(民間型)利用料が 半額(500円)になり、対象も拡大に

4月になって、緊急通報システムの利用料が減額されるということがわかりました。署名を集めて区議会に請願運動をただけにうれしい報告ができます。

請願運動が実現させた
力になった

南大井地域の方が代表になって一年前に区議会に提出した緊急通報システムの利用料無料化を求める請願は、当時の厚生委員会で審議されましたが、共産党以外の政党が反対したために採択されませんでした。共産党として他党の反対で実現できなかったことに甘んじていられないとして、繰り返し実現できるように働きかけてきました。

低所得者の負担が軽減
さらに対象も拡大

新年度になって、区民が申請のために区の窓口に行き、出された資料を見ると、対象が広がっていることと、負担額も1000円から500円になっていくことがわかりました。その方は、共産党に来て教えてくれたことでわかりました。

緊急通報システム(民間型)	
資格要件	区内に住所があり65才以上のひとり暮らし、または高齢者のみ世帯、慢性疾患があり、日常生活を営む上で注意を要する方
費用	介護保険料の保険料段階が 第1段階～第5段階は1000円が500円に 第6段階～第9段階は1800円 別途通信料金(月額300円～400円)

右の表を見るとわかるように、今までは介護保険料の段階が1～2の生活保護世帯か世帯全員が区民税非課税という低所得層だけをひとつのグ

ループにして、しかもひと月1000円の負担にしていたのですが、今年度からは介護保険料5段階までの「区民税が本人非課税で同一世帯内に区民税納税者がいる」世帯までを対象に、500円に減額したので、運動の成果といえるのではないのでしょうか。

23区のなかで無料の区は多数 引き続き取り組みます

民主党政権は暮らしを守ることを忘れていたのではないかと、多くの区民から聞こえてきます。高齢者は年金生活に限り不安を抱えているだけに、できるだけ費用負担を少なくすることが必要だと思います。



肺炎球菌ワクチン接種に助成

区はヒブワクチンに続き肺炎球菌ワクチン接種費用にも一部助成を決めました。

日本での小児の細菌性髄膜炎の患者は毎年千人以上。原因の6割強をヒブ、3割を肺炎球菌が占めます。患者の5%が死にいたり20%に重い後遺症が残るだけに、WHOは接種を勧告しています。

負担を課していない区は8区、課している区は180円とか273円など定額です。品川の500円以下に設定している区は6区です。日本共産党として、この緊急通報システムの無料化に引き続き取り組みます。

子どもを守るための「まもるっち」に不具合続出 契約はソフトバンク

区民委員会で報告された「まもるっち」。区は、数年前からすべての小学生に所持させていますが、システムの不具合が続いています。

区民委員会で報告があり、各委員から契約内容にも触れるという厳しい意見が出されました。子どもの安全を確保するという配布の趣旨からいって当然です。4月13日の委員会で再度、報告がありました。

元々は、区内製造業者が持っている技術を生かしてつくった、品川技術の製品でした。製造業の発展に寄与すると期待していましたが、経済的な事情もあって、技術は転々と、昨年からソフトバンクと契約をしておりました。

わかったことは、不具合は281件。充電関係は177件、ランプ点滅不良は44件、操作方法の問合せは60件です。しっかり確立した技術ではなく、開発途中のまま製品化するのでは、「安全」という目的からいけるかなものかと思えます。保護者と子どもさんの不安をぬぐうことを求めます。

今年の初めに、3次元の新しい機種を開発したとして、各小学校に配布したものの、すぐに充電関係やランプ点滅の不具合がたくさん出たといえます。



生活・雇用・子そだて・教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先 南恵子区議会議員 電話(3790)1523